

2013-B					
拠出金・基金の名称		国連世界食糧計画拠出金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 国連世界食糧計画(WFP)					
【所管官庁担当局課・室名】 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 「稲作等を通じたアフリカ食料安全保障復興支援事業」 フード・フォー・ワーク事業により、復興途上にあるアフリカ諸国で稲作生産基盤を農民主体で復旧し、コメの中長期的生産性を向上する。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成25年度	76,853	937	-	1米ドル = 82円	100
平成24年度	76,884	949	-	1米ドル = 81円	100
平成23年度	84,903	954	-	1米ドル = 89円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 労働の対価として食料を供与する住民参加型農村開発事業(フード・フォー・ワーク)により、水田開発等を通じた稲作支援、貧困地域農村の自立支援を行う「アフリカにおける稲作等普及事業」を実施。平成24年度までに西アフリカ4カ国で1,780haの水田開発を行い、7,062人がその水田でコメ生産に関わっており、当初の目標を達成、十分な成果が得られ、我が国として高く評価できる。 また、平成24年度事業として、平成25年1月から内戦からの復興過程にある西アフリカ2カ国で新たに「稲作等を通じたアフリカ食料安全保障復興支援事業」に着手。平成26年5月には事業の一環として供与される食糧の引渡式が行われ、先方政府の農林水産省副大臣も出席し、日本政府による支援に感謝の意が表された。 なお、WFPIは、他の国連機関や現地政府などとの連携を進めており、食料・燃料価格高騰、大規模自然災害等に有効に対処している。 さらに、ドナーの拡大や民間からの支援の増加に積極的に取り組むとともに、食糧の現地調達による輸送経費の削減などの効率化を実施している。					